

12月2日に、サッカーワールドカップで日本がスペインに2対1で勝って、見事に決勝トーナメントに進むことができました。先生が小学生の頃、ちょうど「キャプテン翼」というサッカーの漫画が流行り始めて、サッカーの人気が出てきた頃でした。先生もサッカーが大好きで小学校のクラブ活動ではサッカークラブに入って楽しく活動したり、休み時間や放課後によくサッカーをしたりしていました。だいたい40年くらい前の話になりますが、その頃はドイツやスペインなどといった国との実力の差は大きく、とてもじゃないけど勝てるような相手ではありませんでした。そのような時に、「これからも無理だろうな」と思うか、「いつか勝てるようになりたいな」と思うかで全然違った結果になると思います。日本代表は何十年もかけて、いいコーチにきてもらったり、相手の国のことや戦術を分析したりして、勝つことができるようなレベルにまでなりました。「絶対無理」とあきらめるのではなく、いつかは勝てるはずと信じて夢を持ち続け、努力してきたからこそ、達成できたのだと思います。

ちなみに、先日お話をした女性審判員の山下さんも見事、第4の審判員という仕事を担当することができました。また、フランスの女性が女性として初めて、主審を務める試合もありました。これらも同じで、

夢をあきらめなかつたからこそ、実現したのだと思います。

みなさんにも、「こうなりたいな」とか「これをしてみたいな」というようなこと、つまり「夢」をしっかりと持って欲しいです。そして、ぜひその夢に向かって頑張っていって欲しいと思います。